

**2020年入社 新入社員対象調査**  
**－ 2020年入社 新入社員の就業実態 －**  
**【就業状況編】**

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、2020年入社の新入社員に対して調査を実施しました。今回、調査結果の一部を【就業状況編】としてまとめましたので、ご報告申し上げます。

**< サマリー >**

2020年入社の新入社員について、大学卒業後最初の就職先（初職）での継続就業者は88.5%、退職者は11.5%。厚生労働省が公表している「新規学校卒業就職者の在職期間別離職状況」の直近5年間の1年目の離職率を見ると11%台であることから、コロナ禍によるテレワークなどの勤務形態で就業上の懸念点も指摘されている中ではあるが、さほど変化は見られない。

退職理由は、「仕事内容への不満」が4割を超える。

初職先での同期と比較した活躍度合いは、「どちらともいえない」が3割強ではあるものの、「活躍している・計」46.4%、「活躍していない・計」17.1%と、活躍していると思っている者が多い。

現在の勤務先を辞めたいと思うかどうか聞いたところ、辞めたいと思うことがない者25.7%に対して、辞めたいと思うことがある者（「辞めたいと思うことがある・計」）は74.3%と4人に3人となっている。辞めたいと思う理由は、「覚えることが多すぎて頭がついてこない」「入社前にイメージしていた仕事内容ではない」「勤務地が合わない」「みんなが忙しくて放置気味」などがみられる。

配属先で教育担当者などの相談者について、相談者がいた者は6割近く。初職先の就業状況別に見ると、退職者よりも継続就業者の方が、相談者がいたとの回答が多い。

**< 内容 >**

- 1) 卒業後最初の就職先（初職）の就業状況、退職理由について・・・・・・・・・・ 3
- 2) 卒業後最初の就職先（初職）で同期と比較した場合の活躍度について・・・・・・・・ 4
- 3) 現在の勤務先に対して辞めたいと思う状況およびその理由について・・・・・・ 5
- 4) 現在の勤務先を辞めたいと思う理由（自由回答）について・・・・・・ 6
- 5) 卒業後最初の就職先（初職）での「相談者」の有無について・・・・・・ 7

## 調査概要

### ■2020年入社 新入社員の就業に関する調査

調査目的：新入社員の入社前・後の動向や価値観、就業状況等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2020年入社の新入社員

調査期間：2021年5月13日～19日

調査回答数：993人

#### □卒業後最初の就職先業種

|          | n   | %     |
|----------|-----|-------|
| 全体       | 993 | 100.0 |
| 建設業      | 52  | 5.2   |
| 製造業      | 303 | 30.5  |
| 流通業      | 49  | 4.9   |
| 金融業      | 67  | 6.7   |
| サービス・情報業 | 427 | 43.0  |
| 官公庁      | 55  | 5.5   |
| その他・計    | 40  | 4.0   |

#### □現在の勤務先業種

|          | n   | %     |
|----------|-----|-------|
| 全体       | 993 | 100.0 |
| 建設業      | 53  | 5.3   |
| 製造業      | 311 | 31.3  |
| 流通業      | 45  | 4.5   |
| 金融業      | 65  | 6.5   |
| サービス・情報業 | 423 | 42.6  |
| 官公庁      | 55  | 5.5   |
| その他・計    | 41  | 4.1   |

※その他・計は、「農業・水産・鉱業」「各種団体」「その他」を含む

#### ◀ 調査結果を見る際の注意点 ▶

○%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値と計算値が一致しない場合がある

#### ◀ 用語の定義 ▶

- 初職先＝卒業後最初の就職先
- 継続就業者＝卒業後最初の就職先で働いている人
- 退職者＝卒業後最初の就職先を退職した人

# 1) 卒業後最初の就職先（初職）の就業状況、退職理由について

## 2020年入社者の初職在籍率は、約9割

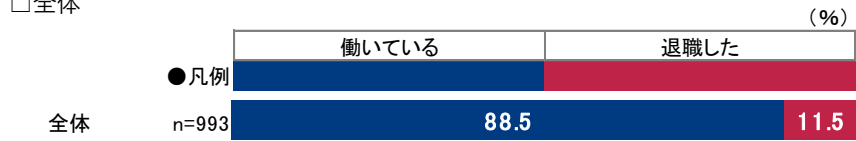
2020年入社者が卒業後最初の就職先（初職）での就業状況は、88.5%が働いている。

業種別に見ると、どの業種もほぼ同じではあるが、その中でも「流通業」「金融業」が他よりも比較的低い。

卒業後最初の就職先（初職）を退職しているのは11.5%で、その理由を見ると、「仕事内容への不満」43.0%、「人間関係への不満」34.2%、「労働条件や勤務地への不満」29.8%と続く。

### ■卒業後最初の就職先（初職）の就業状況（全体／単一回答）

□全体



※厚生労働省「新規学校卒業就職者の在職期間別離職状況」の2019（平成31）年3月卒業者の1年目の離職率は11.7%。直近5年間は11%台。

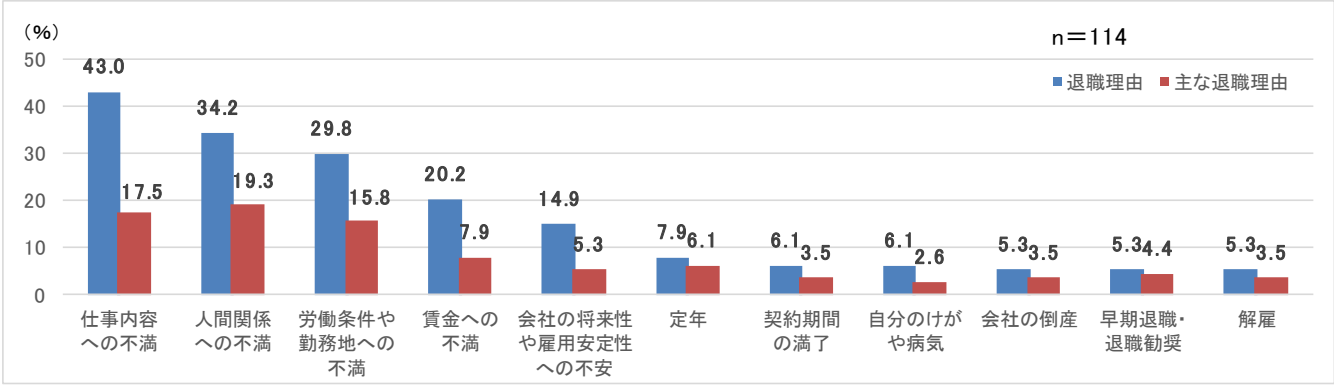
□業種別

|          | n   | 働いている (%) | 退職した (%) |
|----------|-----|-----------|----------|
| 全体       | 993 | 88.5      | 11.5     |
| 建設業      | 52  | 88.5      | 11.5     |
| 製造業      | 303 | 88.1      | 11.9     |
| 流通業      | 49  | 85.7      | 14.3     |
| 金融業      | 67  | 86.6      | 13.4     |
| サービス・情報業 | 427 | 88.5      | 11.5     |
| 官公庁      | 55  | 94.5      | 5.5      |
| その他・計    | 40  | 90.0      | 10.0     |

以降  
卒業後最初の就職先で働いている人＝継続就業者  
卒業後最初の就職先を退職した人＝退職者とする

### ■卒業後最初の就職先の退職理由（卒業後最初の就職先退職者／複数・単一回答）

※退職理由で降順し、上位11項目をグラフ表示



|        | n     | 仕事内容への不満 | 人間関係への不満 | 労働条件や勤務地への不満 | 賃金への不満 | 会社の将来性や雇用安定性への不安 | 定年  | 契約期間の満了 | 自分のけがや病気 | 会社の倒産 | 早期退職・退職勧奨 | 解雇  | 独立のため | 結婚  | 介護のため | 進学や資格取得のため | 出産・育児 | その他 |
|--------|-------|----------|----------|--------------|--------|------------------|-----|---------|----------|-------|-----------|-----|-------|-----|-------|------------|-------|-----|
| 退職理由   | (114) | 43.0     | 34.2     | 29.8         | 20.2   | 14.9             | 7.9 | 6.1     | 6.1      | 5.3   | 5.3       | 5.3 | 4.4   | 3.5 | 2.6   | 1.8        | -     | 2.6 |
| 主な退職理由 | (114) | 17.5     | 19.3     | 15.8         | 7.9    | 5.3              | 6.1 | 3.5     | 2.6      | 3.5   | 4.4       | 3.5 | 2.6   | 2.6 | 0.9   | 1.8        | -     | 2.6 |

## 2) 卒業後最初の就職先（初職）で同期と比較した場合の活躍度について

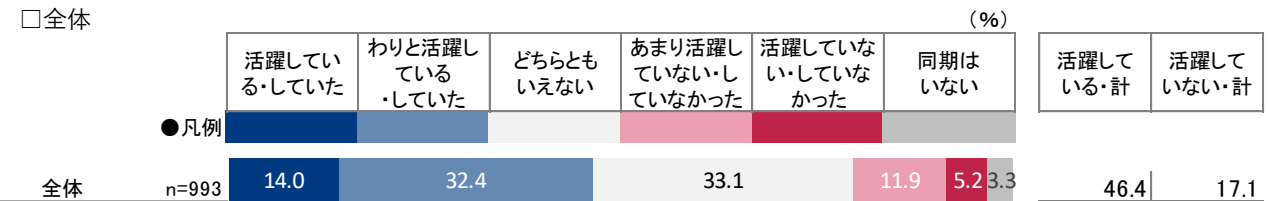
### 同期よりも活躍していると思っているのは、4割強

2020年入社者に、卒業後最初の就職先（初職）で、同期と比較して活躍しているかどうかを聞いたところ、「活躍している・計」46.4%、「活躍していない・計」17.1%と、「活躍している・計」の方が上回っている。

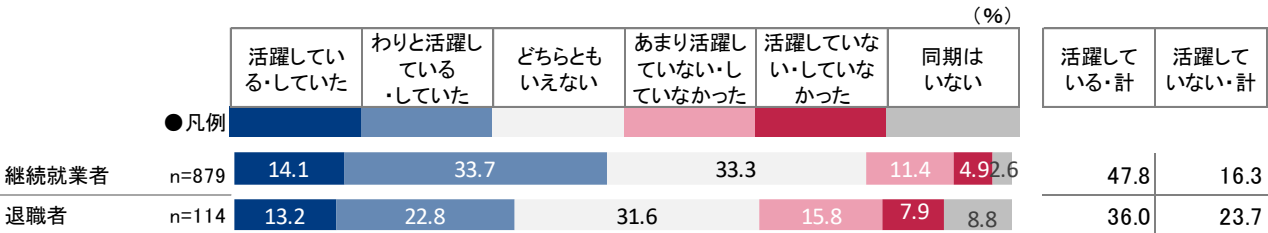
また、卒業後最初の就職先（初職）での就業状況別に見ると、継続就業者では、「活躍している・計」47.8%、「活躍していない・計」16.3%であるが、退職者は、「活躍している・計」36.0%、「活躍していない・計」23.7%と、退職者よりも継続就業者の方が、「活躍している・計」が上回っている。

ちなみに、入社前における卒業後最初の就職先での活躍意向度は、「活躍したいと思っていた・計」が、退職者よりも継続就業者の方が大きく上回っている。

#### ■卒業後最初の就職先（初職）で同期と比較した場合の活躍度（全体／単一回答）

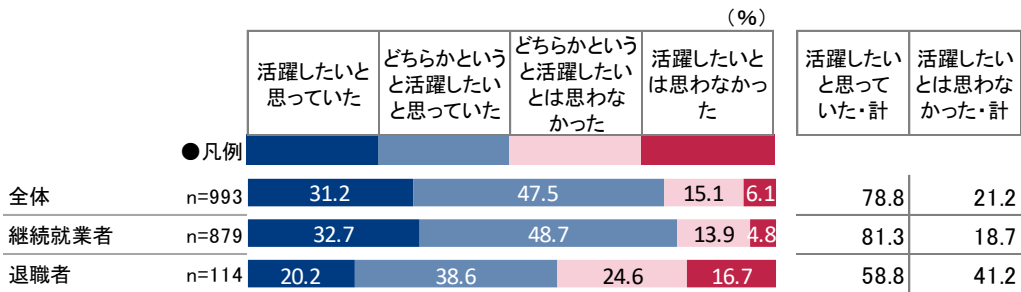


#### □卒業後最初の就職先（初職）での就業状況別



\* 活躍している・計 = 「活躍している・していた」 + 「わりと活躍している・していた」  
 \* 活躍していない・計 = 「活躍していない・していなかった」 + 「あまり活躍していない・していなかった」

#### ■入社前の卒業後最初の就職先での活躍意向度 卒業後最初の就職先（初職）の在籍状況別（全体／単一回答）



\* 活躍したいと思っていた・計 = 「活躍したいと思っていた」 + 「どちらかという活躍したいと思っていた」  
 \* 活躍したいとは思わなかった・計 = 「活躍したいとは思わなかった」 + 「どちらかという活躍したいとは思わなかった」

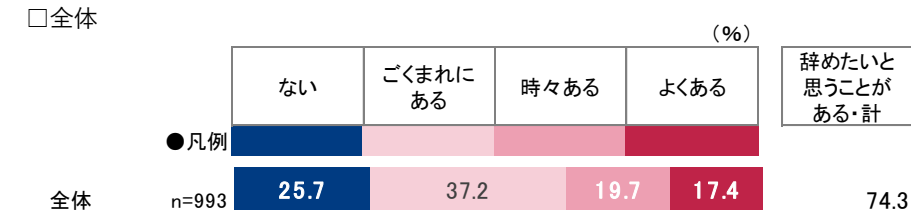
### 3) 現在の勤務先に対して辞めたいと思う状況およびその理由について

#### 7割以上が、現在の勤務先を辞めたいと思うことあり

現在の勤務先を辞めたいと思うかどうかを聞いたところ、「ない」との回答者は25.7%であるが、「ごくまれにある」は37.2%、「時々ある」19.7%、「よくある」17.4%を合わせると7割を超え、少なからず辞めたいと思う者がいる。「現在の勤務先」については、卒業後最初の就職先での継続就業者と退職者とに分かれるが、それぞれ見ると、状況はほぼ同じである。

辞めたいと思っている者のその理由は、「会社や職場の風土が合わない」19.9%、「上司と合わない」21.5%、「仕事が合わない」34.1%、「その他」32.9%である。それぞれについて自由回答で詳細を聞いているが、「その他」では、「みんなが忙しくて放置気味」「コロナの影響で研修など行われなく馴染めなかった」などが見られる。詳細は次ページで紹介。

#### ■現在の勤務先を辞めたいと思う状況（全体／単一回答）



#### □卒業後最初の就職先（初職）での就業状況別

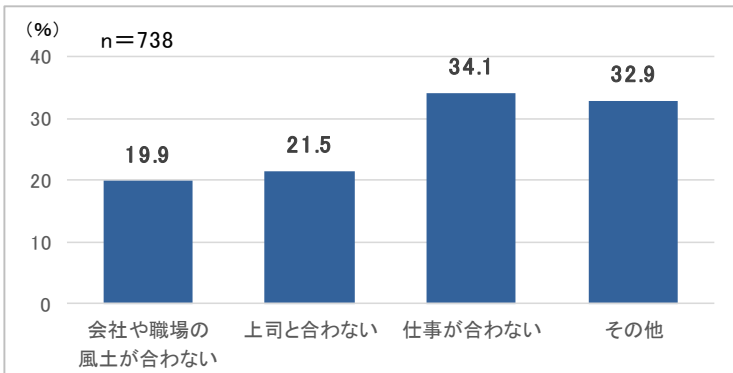
(%)

|       | n   | ない   | ごくまれにある | 時々ある | よくある | 辞めたいと思うことがある・計 |
|-------|-----|------|---------|------|------|----------------|
| 全体    | 993 | 25.7 | 37.2    | 19.7 | 17.4 | 74.3           |
| 継続就業者 | 879 | 25.8 | 38.2    | 17.9 | 18.1 | 74.2           |
| 退職者   | 114 | 24.6 | 28.9    | 34.2 | 12.3 | 75.4           |

※「継続就業者」は、卒業後最初の就職先  
「退職者」は、転職後の現在の勤務先  
にて、辞めたいと思う状況を聴取

#### ■現在の勤務先を辞めたいと思う状況の理由について（現在の勤務先を辞めたいと思うことがある者／複数回答）

##### □全体



※各項目の理由を自由回答でも聴取。  
詳細は、次ページで紹介。

#### □卒業後最初の就職先（初職）の在籍状況別

(%)

|       | n   | 会社や職場の風土が合わない | 上司と合わない | 仕事が合わない | その他  |
|-------|-----|---------------|---------|---------|------|
| 全体    | 738 | 19.9          | 21.5    | 34.1    | 32.9 |
| 継続就業者 | 652 | 19.8          | 20.4    | 35.0    | 33.7 |
| 退職者   | 86  | 20.9          | 30.2    | 27.9    | 26.7 |

## 4) 現在の勤務先を辞めたいと思う理由（自由回答）について

### ■現在の勤務先を辞めたいと思う理由（自由回答）

#### <会社や職場の風土が合わない>

- 残業代は1時間からしかつかないが、1時間残業ということは少なく、30分程度の残業が多いから実質残業代の支給がないようなものだから。
- サービス残業が多い。
- 残業を前提にした働き方だから。
- 納得できない社長方針の組織変更が幾度も起こる。
- 人によって対応が違ったりなどが当たり前。
- できない人には冷たい態度を取る。
- 手を抜くのが上手い人が評価されていて不平等だと感じる。
- 男尊女卑の風習がある、どの仕事も男性優位。
- 社風や働き方などがやや時代遅れと感じ、仕事にストレスを感じるから。
- 会社の人、特に同期と友達になることを求められる。ビジネスライクな関係でいたい。
- やりがいを感じられない。真面目に仕事をしていると損することがある。
- 成長志向の社員がいない、誰も尊敬できない。
- 新人なのに先輩や上司の指示や監督もない。
- 尊敬できる人がいない。
- いろいろなことに挑戦させてほしい。
- 殺伐としている。

#### <上司と合わない>

- 上司が部下の仕事内容を理解していない。
- 苦手な上司がいて、当たりがきついから。
- 理不尽に怒られる。
- 昔の風潮を今の時代でも押し付けてくる。
- 歳が離れすぎててきつい。
- 価値観が天と地ほど違う。
- 直属の上司との報連相がうまくいかない。
- 自分の都合だけで指示をしてくる。
- 上司が自分のミスでも私に押し付けてくる。
- 自分の都合だけで指示をしてくる。
- 上司の能力が低く、仕事バランスもほとんどの仕事で自分で行っている。
- 上司が優柔不断であったり、社長が現場のことをよく理解していないなど。
- 出世意欲のある上司がいない。
- 今まで接してきたタイプとは違う為。

#### <仕事が合わない>

- 日付が変わる頃まで働くことがある。
- 仕事量とスキルが見合っていない。
- 自分自身の能力は別の職業で大いに発揮できるのではないかと気づけたから。
- 覚えることが多すぎて頭がついてこない。
- やりたい仕事とやっている仕事が違う。やりたくない仕事まで任せられるようになってしまった。
- スキルアップが望めない気がするから。
- 単調で成長につながらない、仕事の内容に興味がない。
- 仕事がない時があるから。
- もともとやりたかった仕事内容で無かった（希望の配属先で無かった）。
- 希望の職になかなか異動できないから。
- デスクワークが辛い。視力も落ちた。
- お客様対応に苦労した時。
- 単純に仕事量が多いのと難しすぎます。
- 入社前にイメージしていた仕事内容ではないため。
- あまり営業が向いていなかった。
- 納期や工数管理がやたらと厳しくなってきた。
- 能力と仕事内容が合わない。

#### <その他>

- 給与面での不満。
- 転勤が嫌なため。
- 勤務地が合わない。
- 同期との人間関係が合わない。
- 同世代の社員がいない。
- みんなが忙しくて放置気味。
- 業務量と給与のアンバランス。
- コロナの影響で例年通りの研修などが行われなく、初め馴染めなかった。
- 別の会社で挑戦してみたい。
- 現時点で会社に対する不満は少ないが、条件の良い会社があれば転職したいとは思っている。
- 自分が活躍できているか分からないから。
- このままでキャリアが大丈夫が不安になるため。
- 仕事内容でトラウマを抱えたことがきっかけで、オフィスで過ごすのも辛くなった。
- 時間外勤務が多い。兼業ができない。
- 中堅社員がいない。

## 5) 卒業後最初の就職先（初職）での「相談者」の有無について

### メンター等の相談者は、6割近くは「いた」が、3割超は「いなかった」

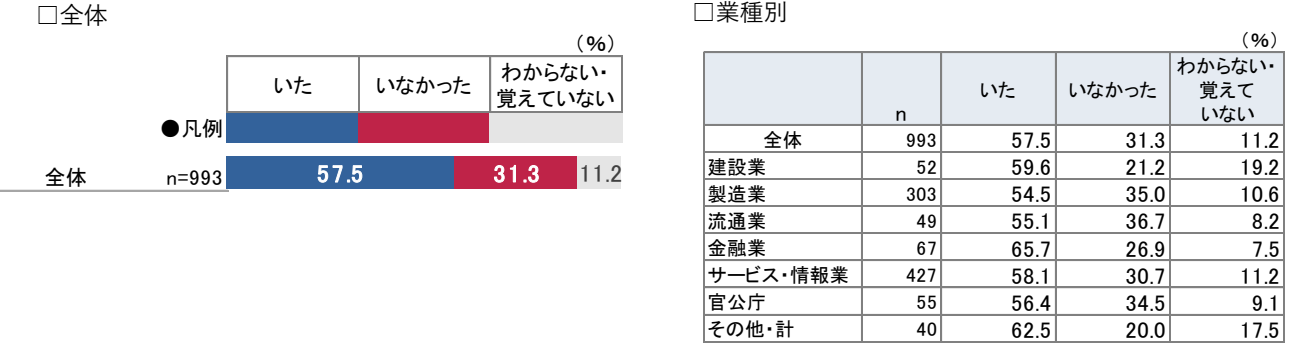
卒業後最初の就職先（初職）の配属先で、相談できる人（メンター）や教育担当者に当たる決まった人がいたかどうか聞いたところ、「いた」は57.5%、「いなかった」は31.3%、「わからない・覚えていない」は11.2%だった。最初の就職先の業種別で見ると、「いた」割合が最も高いのは、「金融業」65.7%。

最初の就職先での就業状況別に見ると、「いた」割合では、継続就業者が60.2%であるのに対して退職者は36.8%であった。

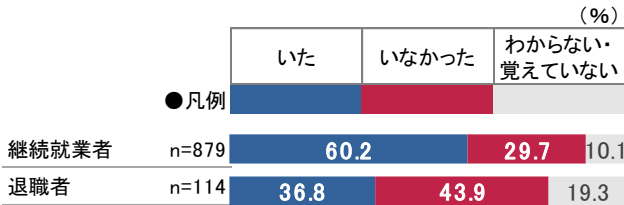
参考であるが、仕事にかかわらず周囲に相談する際の相談相手について聞いたところ、「従来からの友人」が6割以上と最も多いが、「相談する人がいない」1.6%や「人に相談しない」10.9%なども見られる。

#### ■卒業後最初の就職先について、配属先での「相談者」の有無（全体／単一回答）

※卒業後最初の就職先での配属先で、相談できる人（メンター）や教育担当者に当たる決まった人の有無として聴取



#### □卒業後最初の就職先（初職）での就業状況別



#### 参考）周囲に相談する際の相談相手について（全体／複数回答）

